

自己点検・評価について

本学は法務省の告示を受けた日本語教育機関として告示基準第一条第一項第一八号に規定されている通り適切な業務運営を継続させ、教員の一層の充実を図り、本学の目的及び社会的使命を達成する為に、本学に置ける教育活動について自ら点検及び評価を行うものとする。

- | | | | |
|-------------|------------------------------|----|----|
| 1、日本語教育機関名 | 富士インターナショナルアカデミー | | |
| 2、点検評価実施責任者 | 校長 | 高多 | 理吉 |
| 公開責任者 | 経理 | 新町 | 聖子 |
| 評価責任者 | 校長 | 高多 | 理吉 |
| 自己点検実施対象者 | 設置者 校長 主任
常勤教員 非常勤教員 事務職員 | | |

3、評価項目について

- A：達成されている
 - B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組む
 - C：達成に向けて努力している
 - D：達成されていない必要性に気付いていなかった。
 - X：該当しない
- B.C.D.X を選んだ場合は改善点について備考欄に記入をする。
備考欄に書ききれない場合は別紙に記載する。

4、実施期間 毎年、4月末までに実施

5、実施要領 校長より配布された評価表に評価を記入し、設置者、校長は全ての点検内容を評価する。結果はHP等で公表を行う。

6、その他 評価項目は、年度終了後（3月）に項目について検討する。

7、点検、評価項目内容

① 教育理念、目的等

学校の理念、目的、目標や育成する人材像が明確になっているか、その内容が社会のニーズに合致したものとなっているか

② 学校運営

学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか、学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか、組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか

③ 教育活動

教育理念に沿った教育課程が体系的に編成されているか、成績評価や進級、終了の判定基準は明確となっているか、また適切に運用されているか、教員指導力向上の為の取組、教育課程の改善の為の取組が行われているか

④ 学習成果

生徒の日本語能力の向上が図られているか、適切に把握しているか、生徒の進路を適切に把握しているか

⑤ 生徒支援

生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか、健康管理や日本での生活指導などへ支援体制が整備されているか、防災や緊急時における体制が整備されているか

⑥ 教育環境

学校の施設、設備が充分かつ安全に整備されているか、教材は適切か、学習効率を図る為の環境整備がなされているか

⑦ 入学者の募集と受入

募集は適切に行われているか、その際に学校情報は正確に伝えられているか、授業料は適切か

⑧ 財務

中長期的に財務基盤は安定しているか、予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか、財務について会計監査は適切に行われているか、財務情報の公開体制はできているか

⑨ 法令順守

出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営、個人情報保護の取組、自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行う

⑩ 地域貢献、社会貢献

日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献、生徒のボランティア活動への支援、公開講座等の実施の取り組みを行っているか

自己点検・自己評価 項目

1. 教育理念・目的等

1	学校の理念・目的・目標や育成する人物像が明確である。	A
2	内容が社会のニーズに合致した内容である。	A
3	教育目標は達成されており、推進が行われている。	A
4	理念に基づき教育が行われている。	A

具体的で明確な目標に向けなお一層の努力が必要である

2. 学校運営

1	学校の運営体制が日本語教育機関告示基準に合致したものになっている。	A
2	学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されている。	A
3	意思決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能している。	A
4	年度計画の具体案は構築できている。	A
5	危機管理体制は整備はおこなわれている。	A
6	学校運営を客観的に評価し、維持向上する体制が整備・機能しているか	A
7	教職員の指導力向上の為の取り組み、教育課程の改善の為の取り組みが行われている。	A
8	授業力向上の為の人材育成が行われている。	B
9	教職員のメンタルケアが十分に行われている。	A
10	職能、経験に応じた評価がおこなわれている。	B
11	授業評価の実施、評価体制は構築されている。	A
12	人事、賃金、職場環境に対しての制度の整備は行われている。	A
13	教員間の連携、教務主任との連携はとれている。	A

告示基準の順守し、具体的な目標に向け教職員一同が努力している

3. 教育活動



1	教育理念に沿った教育課程の編成がおこなわれている	A
2	成績評価・進級・修了の判定基準は明確であり運用は適切に行われている。	A
3	授業力向上のための校内外の研修に取り組みが行われている。	A
4	課外授業や活動について取り組みが行われている。	A
5	学校内外での勉強会や講演活動に積極的に参加が行われている。	B

教員の勉強会、学外の研修会に参加する等をもっと積極的に行う

4. 学習成果

1	生徒の日本語能力」の向上が図られており、適切に把握している。	A
2	生徒の進路状況、実績を適切に把握している。	A
3	生徒は教育内容を適切に把握している。	A

学習効果は徐々に上がってきており、進路も着実に実績を残している

5. 生徒支援

1	生徒に対する学習相談、進路相談に対する支援体制の整備が行われている。	A
2	健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備、機能している。	A
3	防災や緊急時における体制の整備が行われている。	A
4	生徒の学習及び生徒の指導は適切に行われている。	A

学生指導体制が定着しており、特に母語話者が担当しているので学生も安心できる

5. 教育環境

1	学校施設・設備が安全かつ十分に整備されているか？	A
2	教材は適切であるか？充実しているか？	A
3	学習効率を高めるための環境整備が整っている。	A
4	使用教材、教具についての分析、研究は行われている。	A
5	学校図書書籍は適切に管理が行われている。	A

6	クラス運営の質的向上に取り組んでいる。	A
---	---------------------	---

教材も適切なものを選別しており教具も適時そろえている

8. 入学者の募集と受入

1	入学者の募集は適切に行われている。	A
2	学校情報は正確に伝え、学生が理解できている。	A
3	授業料等は適切である。	A
4	入学の選考は適正かつ公平な基準に基づき行われている。	A
5	適正な定員設定及び在籍者数になっている。	A

入学希望者とは、入学までに何回もコンタクトを取り日本での生活に不安がないようにしている。授業料については、他校との差異はない。

9. 財務

1	中長期的に財産基盤は安定している。	A
2	予算・収支計画は適切で妥当なものである。	A
3	会計監査は適切に行われている。	A
4	財務状況の公開体制は整っている。	A

今期はコロナで厳しい状況であるが、資産は収支計画に基づいて運用している

10. 法令遵守

1	出入国管理、難民認定法及び各関係法令の遵守と適切な運営、個人情報保護、自己採点の実施と公開、改善を適切に行っている。	A
2	自己点検・評価の公開が行われている。	A
3	関係省庁の定期報告を遅滞なく実施が行われている。	A

ビザ更新、アルバイト管理と学期ごとに学生面談をしている

11. 社会貢献・地域貢献

1	日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献、生徒のボランティア活動への支援、公開講座の実施などの取り組みを行っている。	B
2	地域のコミュニティー活動に積極的に参加が行われている。	B

近隣とのトラブルは発生していないが、もっと積極的にボランティア活動に参加するよう
にしていく必要がある。